

科目ナンバリング		U-LAS03 10006 SB48										
授業科目名 <英訳>		外国文献講読（法・英）Ⅰ-E1 Readings in Humanities and Social Sciences (Law, English)Ⅰ-E1					担当者所属 職名・氏名		法学研究科 教授 鈴木 秀光			
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)		外国文献研究			使用言語	日本語		
旧群	C群	単位数	2単位		週コマ数	1コマ		授業形態	演習（対面授業科目）			
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	水1			配当学年	2回生以上		対象学生	全学向	
【授業の概要・目的】												
<p>法学・政治学に関する英語の専門的文献を精読することにより、必要な専門的知識を習得するとともに、正確に外国語を読む訓練を行う。</p> <p>この授業では、中国近世における「契約」に関する英語圏の論文を題材とする。中国近世を事例に契約についての様々な考え方を学ぶとともに、非英語圏の事象に関する英文について、その文脈や背景に即して正しく理解することを目的とする。</p> <p>履修者は、予め割り当てられた担当箇所について、事前に全訳を提出するとともに、授業においてその箇所の発表をする。また他の出席者に対しても毎回講読予定箇所の要約の提出を求める。</p>												
【到達目標】												
<ul style="list-style-type: none">・英語文献の内容をその文脈や背景に即して正しく理解し、適切な日本語に翻訳し、また説明することができる。・中国近世の「契約」についての様々な議論を学ぶことで、契約に関する理解を深めることができる。												
【授業計画と内容】												
第1回 イン트로ダクション												
本授業の内容について解説するとともに、前提知識として中国近世の「契約」に関する簡単な解説を行う。												
第2回～第14回 講読												
Madeleine Zelin, Jonathan K.Ocko, and Robert Gardella, eds. Contract and Property in Early Modern China, Stanford University Press, 2004 に収録されている論文を講読する。												
期末試験												
第15回 フィードバック（具体的方法は別途連絡する）												
【履修要件】												
外国文献講読（法・英）は専門への導入コースなので二回生以上を対象とする。												
【成績評価の方法・観点】												
筆記試験による期末試験（60％）、割り当てられた担当箇所の全訳の提出および発表（20％）、毎回の要約提出および出席の状況（20％）により評価する。なお割り当てられた担当箇所の全訳の提出を怠った場合、四回以上欠席した場合、あるいは四回以上要約の提出を怠った場合は単位を認定しない（「0点」と評価する）。												
----- 外国文献講読（法・英）Ⅰ-E1(2)へ続く -----												

外国文献講読（法・英）Ⅰ-E1(2)

【教科書】

授業に必要な資料は配布する。

【参考書等】

（参考書）

授業中に紹介する

【授業外学修（予習・復習）等】

毎回授業前に講読予定箇所を読み、分からない単語や概念について調べるとともに、担当者は全訳を、担当者以外は要約を作成する。

毎回授業後に、授業中に扱った部分及び教員が説明した内容について復習し、理解を確実なものとする。

【その他（オフィスアワー等）】

この科目は法学部生を対象に開講される科目です。履修人数に余裕があれば、他学部の学生も履修できますが、法学部事務室にて事前申込みが必要です。詳細は、履修（人数）制限に関するお知らせにて確認してください。